SAKAI PORT TRADE PROMOTION ASSOCIATION

# 境港ニュース

第104号
（令和4年11月）

Sakai Port

発行 境港貿易振興会　〒684-0046 鳥取県境港市竹内団地255-3　TEL（0859）47-3905 / FAX（0859）47-3906
E-mail sptpa@sanmedia.or.jp　URL https://www.sakaiminato-faz.co.jp/

## 3年ぶりに東京でPR!! 境港利用促進セミナーを開催しました

- 日にち　令和4年8月24日（水）
- 場　所　ホテルグランドアーク半蔵門（東京都千代田区）
- 時　間　15:00～17:30

国際貿易港"境港（さかいこう）"をより多くの方に知っていただくため、毎年、利用促進懇談会等を開催しております。

今回、3年ぶりとなる東京での開催となりました。本セミナーでは変化する物流環境への対応をテーマに原瑞穂 J&Kロジスティクス株式会社 代表取締役に基調講演いただいたほか、境港の概況や助成制度の説明、実際に境港利用されている企業からの実例紹介などしていただき、当日は約90名の方にご参加いただきました。

<伊達会長>

<セミナーの様子>

伊達会長（境港市長）はあいさつの中で、長引くコロナ禍、原油や物価高騰など社会経済全体が大きな影響を受けており、海運業界も海上運賃の高騰、国際的なコンテナ不足など大変厳しい環境であることを説明した上で「境港においてもコンテナ取扱貨物量等未だコロナ前の状況に回復していないが、本年度は"ガントリークレーン"が追加整備される」と報告。「境港が有する北東アジア、さらには世界へ向けたゲートウェイとしての地理的優位性を最大限に生かし、関係機関とともに境港の一層の利活用に取り組んで参りたい」と境港の利用を呼び掛けました。

『境港利用促進セミナー』の概要は以下のとおりです。

### 講　演

講師　J&Kロジスティクス株式会社　代表取締役 原　瑞穂 氏

演題　「BCPの観点を含む境港の役割・活用について」
～変化する物流環境への対応の方向～

<講演：原代表取締役>

**主な説明内容**

- 運送の小口化や物流施設の大規模化、運行のアンバランスや2024年問題など、近年の物流環境の変化にへの対応が必要
- 山陰エリアの物流動向の分析を踏まえ、外貿航路で結ばれる釜山港FTZを経由した物流バランスや物流費用の改善、境港の立地特性を生かした物流効率化やビジネスコンセプトの方向性や可能性の提案
- 物流2024年問題等喫緊の課題や環境の変化に対応して、SCM（サプライチェーンマネジメント）改善を行う場合に必要となる物流施設や連携の提案

### 実例紹介

演題　「境港活用による事業継続計画（BCP）について」

<実例紹介：ニッポン高度紙工業株式会社>

境港利用の荷主企業の声として、国内シェア約95%、世界シェア約60%のアルミ電解コンデンサ用セパレータを製造されている、ニッポン高度紙工業株式会社（本社:高知市）のSCM本部SCM部 部長　関　誠一様に実例紹介を発表いただきました。

**次ページに実例紹介の主な内容を掲載しております。**

### 境港概況説明・助成制度説明

<概況説明：境港管理組合>

<説明：島根県>

<説明：境港貿易振興会>

<説明：鳥取県>

セミナー後は名刺交換会を行い、情報交換の場としてご活用いただきました。参加者からは「変化する物流環境への対応は大変参考になった」「実例紹介が具体的で分かりやすく、興味を持った」や「セミナー開催は継続してほしい」などの声が聞かれました。

当会としましては、セミナー等開催は境港をPRする重要な場として捉えています。"境港"の認知度向上のため、これからも利用促進活動に取り組んで参ります。

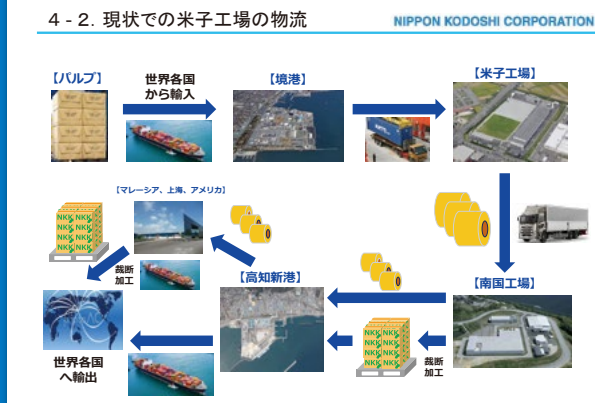
<名刺交換会の様子>

# ～境港利用促進セミナーでの実例紹介～

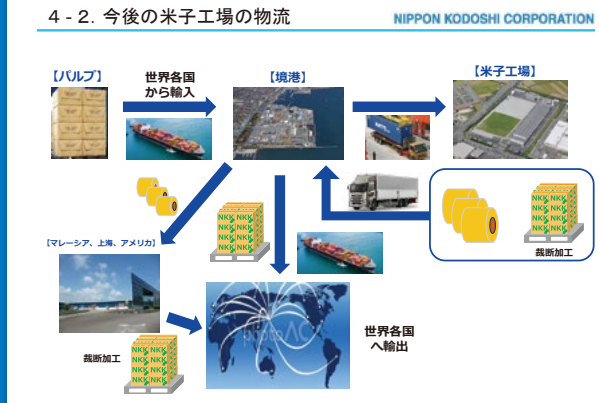
## ニッポン高度紙工業株式会社

ニッポン高度紙工業株式会社 様（高知県高知市）は、1941年に高知市で設立され、アルミ電解コンデンサ等の製造販売や研究開発をされている「コンデンサ用セパレータ」の世界トップメーカーです。BCPの観点から鳥取県米子市に進出、2012年に米子工場を操業開始され、2024年には米子工場を増強される予定です。

今回、境港利用の実例としてご発表いただいた主な内容をご紹介します。




- 米子工場で使用する原料の輸入について、地理的メリット・交通不安リスク回避・品質確認等実務効率の向上の観点から、米子工場で使用する原料は境港荷揚げが原則




- 2024年には新たに米子工場を増強
- これまで不可能であった製品の完成までの工程が米子工場で行えるようになることから、今後は輸出でも境港を利用予定

**弊社の更なる発展や様々な情勢の対応には、境港の更なる発展が必要不可欠**

# ～国際フィーダー船で国内貨物の取扱を開始～

境港の外貿定期コンテナ航路は現在、韓国航路（週4便）と韓国・中国航路（週1便）が就航しております。それに加え、昨年11月から境港ー神戸港ー世界各港を結ぶ国際フィーダー航路（運航会社：OOCL、井本商運）も週1便（寄港日：水曜日）運航し、釜山港及び神戸港を経由して世界各国と接続しております。

このたび、カーボンニュートラルの取組や物流2024問題への対応も念頭に国際フィーダー航路を利用し、これまで取り扱っていた輸出入貨物に加え、国内貨物も輸送するサービスが開始されました。境港から神戸港を経由して、内航フィーダーサービス航路に積み替えることにより、京浜港や名古屋港のほか博多港など西日本の国内主要港にも海上輸送することが可能となります。

上記についての問い合わせは、**井本商運株式会社　営業部**
TEL：078-322-1602 まで。

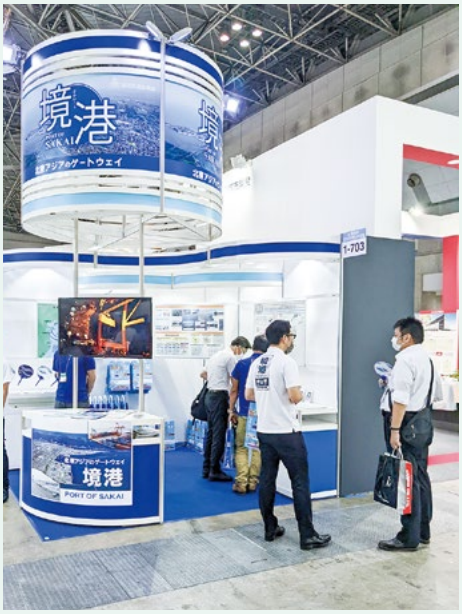
# 展示会に出展しました

TOKYO

## 第15回 国際物流総合展　Logis-Tech Tokyo2022

- 会　期：令和4年9月13日(火)～16日(金)
- 場　所：東京ビッグサイト(東京都江東区)
- 来場者：60,547社(主催者発表)

国際物流総合展は、最新の物流システム機器や情報システム、サービス等ハードとソフトが集結し、国内外のロジスティクス関係者が一堂に会するアジア最大級の展示会で、今回は過去最大規模の526社・団体のブース出展がありました。当振興会も国際貿易港“境港”をより多くの方に知っていただくため、本展に初めてブース出展いたしました。



＜ブース内の様子＞

出展に際し、遠くからでも認識してもらえるようなブース装飾にしたため、来場者の目にとまる機会も多く、また足を止めていただき話を聞く機会も多かったように思います。

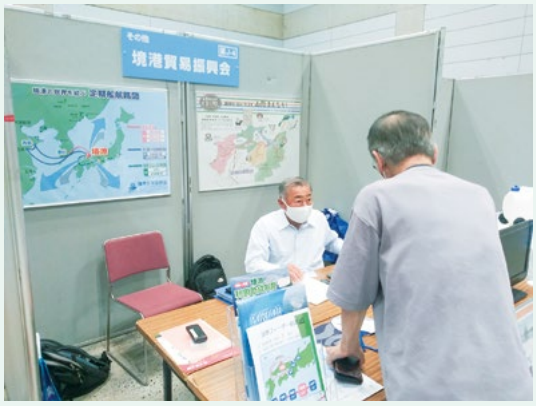
多くの企業・団体の方と話しをする中で「境港=漁港のイメージがあり、貿易ができることを知らなかった」や「境港利用を検討している」などさまざまな声を聞くことができました。中には以前、境港関連の仕事をしたことがあり、気になってブースに立ち寄ってみた、という方もおられました。最も多く聞かれた声は、「境港から輸出入できることを知らなかった」というものでした。当振興会といたしましては、国際貿易港“境港”の認知度向上のため、今後もこのような展示会等に継続して出展することが重要だと考えております。今後もより多くの方に境港を知っていただき、利用に繋がるようなPR活動に取り組んで参ります。

MATSUE

## ビジネスマッチング商談・展示会2022in松江

- 会　期：令和4年10月13日(木)
- 場　所：くにびきメッセ(島根県松江市)
- 来場者：513名(主催者発表)

島根県松江市や安来市、鳥取県米子市や境港市など、中海・宍道湖・大山圏域のものづくり企業が参加する「ビジネスマッチング商談・展示会」がコロナ禍における2年間のオンライン開催を経て3年ぶりに対面実施となり、圏域内178社を含む273社が参加、延べ479件もの商談が活発に実施されました。



＜ブース内の様子＞

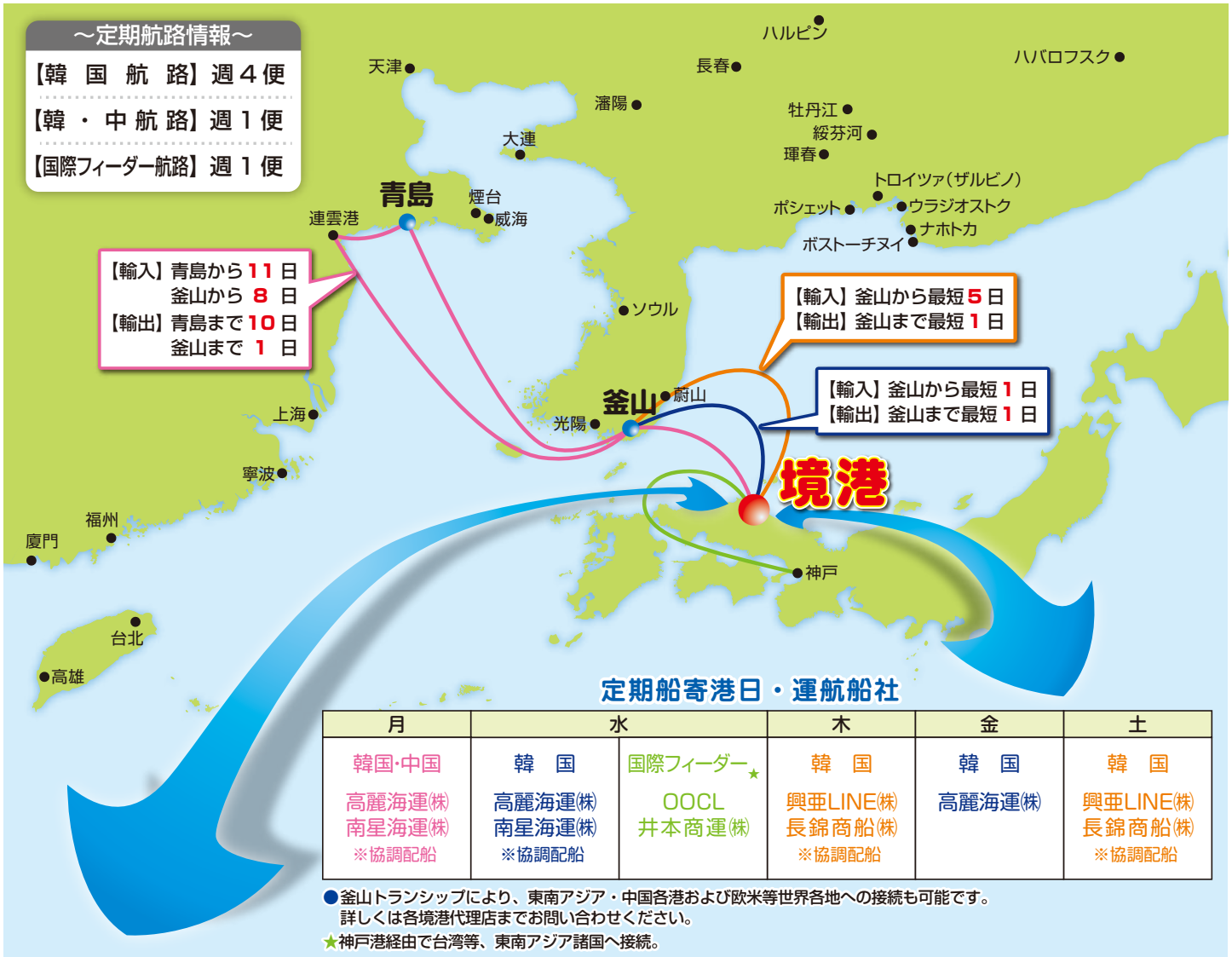
山陰エリアにおいても、企業活動においては輸入原料の使用や製品の輸出など、商社経由を含め何らかの海外との取引がある中、当振興会も地元“境港”を通じた輸出入が可能な事を、まずは多くの方に認知していただくため、出展参加いたしました。

出展ブースにおいて境港の定期コンテナ航路や港湾サービスの概要、外貿航路利用によるインセンティブ制度等の紹介を行うほか、出展された機械、食品等多様なものづくり企業のブースを訪問し、具体的な輸出入貨物、LCLによる輸出入需要の高さなど具体的な話を伺うこともできました。当振興会では、引き続き山陰エリアにおける国際貿易港“境港”の認知度向上と、企業様が利用しやすい、きめ細やかな港湾サービスの向上を目指し取り組みを進めて参ります。

# 境港定期船運航図

境港に寄港している定期船のスケジュール

（2022 年 10 月現在）




当会のホームページから、境港定期船運航図の詳細についてご覧いただけます。**https://www.sakaiminato-faz.co.jp/**

## 具体的な見積り等についてのお問い合せ先　～通関からお手元までトータルなサービスを提供する地元企業～

| 企　業　名 | 業　　務 | 連　絡　先 |
|---|---|---|
| NX境港海陸 株式会社<br>（高麗海運㈱･長錦商船㈱･南星海運㈱･OOCL　境港代理店） | 荷役　通関　保管　運送 | TEL 0859-44-1652<br>http://sakaiminato-kairiku.com/ |
| 株式会社 上組 境港支店<br>（興亜LINE㈱ 境港代理店） | 荷役　通関　保管　運送 | TEL 0859-45-8707<br>http://www.kamigumi.co.jp/ |
| 株式会社 ミック 米子営業所 | 通関　保管　運送 | TEL 0859-37-6771<br>http://www.mikcorp.com/ |
| 株式会社 ニューウェーブ インターナショナル | 貨物集荷代理店 | TEL 0859-38-1150<br>http://www.new-wave-int.jp/ |
| 株式会社マブチ 鳥取工場 | 輸出梱包　大型貨物梱包<br>（出張サービス可） | TEL 0859-39-6300<br>http://www.k-mabuchi.co.jp/ |
| ヤマト運輸株式会社<br>山陰パッキングセンター | 輸出梱包　大型梱包　運送 | TEL 0859-21-7331<br>http://www.kuronekoyamato.co.jp/ |

## 関係機関が相互に連携して、いろいろなご相談に応じます

| 機　関　名 | 主　な　業　務 | 連　絡　先 |
|---|---|---|
| 境港貿易振興会 | ポートセールス（利用助成制度） | TEL 0859-47-3905 |
| 境港管理組合 | 港湾施設管理 | TEL 0859-42-3705 |
| とっとり国際ビジネスセンター | 貿易サポート | TEL 0859-30-3161 |
| （公財）しまね産業振興財団 | | TEL 0852-22-6193 |
| ジェトロ鳥取貿易情報センター | 国際ビジネス情報の<br>提供･相談･企業支援 | TEL 0857-52-4335 |
| ジェトロ島根貿易情報センター | | TEL 0852-27-3121 |